

土田 ゼミ

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ	演習Ⅲ サマセ	演習Ⅲ 後期	演習Ⅳ
	○		○					○	

修得済み科目		教員指定修得済み科目	履修しておくことが望ましい科目
日本の経済	基礎演習 A		
コンピュータと情報	基礎演習 B		
ライフデザイン			

3年男	13人	3年女	4人	4年男	20人	4年女	5人
-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	----

(1) テーマ

証券投資論、ファイナンシャル・エンジニアリング、行動ファイナンス等の金融科学分野の研究と証券投資の実践

(2) キーワード

MPT、FX、先物、オプション、株式、債券、広範なデリバティブズ、信用取引

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

- 2年後期は株式投資の基礎勉強と実践、テキストの輪読・発表。
- 3年の一年間はポートフォリオ理論とデュレーションの勉強、同上。
- 4年後期は高度なファイナンシャル・エンジニアリングの勉強。

合宿あり。

1. 秋合宿 3泊4日、1日10時間勉強、全員参加。
2. 冬合宿 3泊4日、ハワイか北海道、1日勉強5時間(参加資格は実践成績中級以上の者のみ)。
3. 春合宿 2泊3日、実践成績優秀者はDSL 豪華ホテル1日3時間勉強。
実践成績不良者はFハイランド絶叫マシン、全夜勉強。
4. 夏合宿 25泊27日 アメリカ横断旅行(実践成績優秀者かつ根性強い者のみ)。
(投資の実践で旅費を稼いだ人のみです)。

(4) 演習Ⅳ以外で、論文などを課す場合の詳細(枚数や時期など)

★ 卒業論文は、書くことを求められます。400字詰め20枚程度。

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

★概ね証券系が5割、銀行系が3割、サイバー広告・IT系が1割というような比率です。

三菱UFJモルガン・スタンレー証券、野村證券、大和証券、三井住友銀行、みずほ銀行、みずほ証券、千葉銀、横浜銀行(コンコルディアファイナンシャルグループ)、岡三証券、東京東海証券、サイバーエージェント、サイバーアド、日本放送、朝日放送、ユニバーサル映画社、等々。

(6) 教員について(自己紹介等)

小生の好きな物は、証券投資で稼ぐこと、超冷えたビール、ドイツ製の生ハムのピザ、十割蕎麦、香川県志度町の「権平」うどん、フレンチのコース、喜楽・はやし・伝丸・麵屋武蔵・やすべえの醤油ラーメン、焼き肉、蒙古火鍋、浦和レッズ、阪神タイガース。そして German Helmet 1934 と Harley Davidson 1500 cc でアリゾナの砂漠を延々と地平線の彼方まで走ることです。

嫌いな物は、負け犬根性・目的のない人間・行動力に乏しい人間・その他多数で書ききれない。

(7) その他

1. ゼミのモットーは、人生の最後に大笑いをする事。
2. その目的のために、猛烈に勉強して、無茶苦茶に稼いで、思いっきり遊びきる事。
3. ゼミの雰囲気は、明るいし、楽しいし、目的思考に溢れています。

☆アメリカ横断旅行で、世界の金融と創造的文化の中心地、NYのタイムズ・スクエアで大笑いすることで、心の底から自由に創造力豊かな空気を吸って気合いを入れます。

4. 求める学生像は、

- ★ 人生の目標を明確に持っている学生。
- ★ 証券投資の基本を勉強し、それを実践して確かめる行動力のある学生。
- ★ 人生の最後に大笑いが出来る生き方を、選び取り実践できる根性のある学生。

5. ☆このゼミは経済学部の中でも、最も勉強に厳しいゼミという評価ですが、それは事実です。

☆証券投資にチョット興味がある程度では、ゼミにはついてこれません。

☆コンピュータープログラミングの勉強もあります。ヤル気のない人は要りません。

☆証券投資を実践する勇気と行動力も必要です。唯、座っているだけの人は必要ありません。

☆実践成績不良者、勉強成績不良者には、「戦力外通告」があります。つまり「首」です。

☆相当な根性と気合が必要です。覚悟を決めて応募してください。

☆ ゼミ見学は自由。金曜日 5 時限。

☆ 問い合わせも自由。

☆ 小生の研究室は 03-5466-0326, タワー0908。

以 上。

中泉 ゼミ

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ	演習Ⅲ サマセ	演習Ⅲ 後期	演習Ⅳ
	○		○	○			○	○	○

修得済み科目		教員指定修得済み科目	履修しておくことが望ましい科目
日本の経済	基礎演習 A		経済理論入門
コンピュータと情報	基礎演習 B		

3年男	7人	3年女	4人	4年男	9人	4年女	3人
-----	----	-----	----	-----	----	-----	----

(1) テーマ

役に立つ（応用力と実践力のある）ミクロ経済学を学ぼう

（とくにビジネスあるいは経営（戦略）のためのミクロ経済学を学ぼう。学問分野としての名前はビジネス・エコノミクスまたは経営経済学）

そして、経済学的なセンスを身に着けよう

そのために必要となる数学（微分など）を学ぼう（復習しよう）

教材を通して英語力（ただし読解力）を自主的に向上させよう

(2) キーワード

論理的かつ戦略的思考力と専門的基礎力に裏打ちされた自信
ともに学びともに成長

(3) ゼミの進め方

演習Ⅰ：関連するミクロ経済学の初歩を中心に学び、土台固めをする。必要な微分などの数学の初歩も学ぶ。基本的には下記の主教科書の最初のほうにある **Economics Primer :Basic Principles** などを主な題材とする。原則、4人単位のグループワークですすめる。

演習Ⅱ（3年通年）：原則、主教科書等を題材に4人単位のグループワークですすめる。

演習Ⅱ・Ⅲ（サマーセミナー）：2日間は大学で、3または4日間は合宿形式で実施する、3・4年生合同の集中セミナー（4年生は**卒業研究中間報告**）。

演習Ⅲ（4年後期）・演習Ⅳ（4年後期）：**個別研究**とそれに基づく**ゼミ卒業論文**の作成。履修上は各後期2単位となっているが、前期にも何回かゼミ（自主ゼミ）を実施。卒業研究のテーマは自由。ただし、原則、経済学または経営学を応用してもらう。

演習 I と II の主教科書

D. Besanko, D. Dranove, M. Shanley, S. Schaefer, **Economics of Strategy** 7th edition, John Wiley & Sons (英文教材はこちらで準備する)

演習 II (主に後半) では(経営学からみた)経営戦略論の本も主教科書とする予定。

たとえば(あくまで予定)

網倉久永・新宅純二郎著『経営戦略入門』、日本経済新聞出版社、2011年

(4) 演習 IV 以外で、論文などを課す場合の詳細(枚数や時期など)

(これまで) とくになし。

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

とくに傾向はない。コンサル、IT 関連、商社、流通、不動産、旅行会社、ホテル・レジャー業関連、銀行、保険、証券、建設、メーカー、公務員、大学院進学など、多岐にわたる。

(6) 教員について(自己紹介等)

専門分野は応用ミクロ経済学。とくに産業組織論(誤解をおそれずにいえば、この産業組織論を企業が上手に利用すると、ポジショニング学派の経営戦略論になる。それをみごとにやってのけたのが、マイケル・ポーターという学者。どんな人か調べてみてください!) と医療経済学。

(7) その他

応募にあたって留意してほしいこと を書きます。

☐ シラバス も、きちんと読んでください。シラバス上、このゼミの到達目標(の前半) は、以下のようになっています。

「企業の経営戦略(企業戦略・事業戦略)に必要な経済学の初歩的な概念を説明でき、それらを使って実際の企業の経営戦略や産業組織を分析できるようになる。それらを踏まえ、より実践的な業界分析や戦略立案ができるようになる。」

うまくビジネスを成功させるには、ミクロ経済学的なセンス(経済的な諸関係に対する深い洞察力:たとえば簡単などころでは、自社がつける価格と自社製品に対する需要の因果関係はどうなっているか、少し複雑などころでは、ライバル他社の出方をどう読むかなどのゲーム理論的視点) がけっこう役立ちます。しかし、ミクロ経済学の学習には、抽象的な思考力 が要求されます。必ず、ミクロ経済学がどのような学問か、テキスト(私自身の著書を含め、たくさん、出ています)などを手に取ってしっかり調べ、自分に向いているかどうか、じっくりと考えてください。「思ったのと違うゼミだった」ということがないようにしましょう!

☐ 選考は「面接または試験」によります。このゼミのこと、1年次必修科目「日本の経済」の基礎事項、経済関連の英文(辞書利用可)、論理的思考に関するものです。「面接または試験」には、必ず、英語辞書(電子辞書可)をご持参ください。

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ	演習Ⅲ サマセ	演習Ⅲ 後期	演習Ⅳ
	○	○	○	○	○	○			○

修得済み科目		教員指定修得済み科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習 A	簿記と財務報告 A		会社入門	
コンピュータと情報	基礎演習 B	簿記と財務報告 B			
ライフデザイン		財務会計			

3年男	7人	3年女	8人	4年男	10人	4年女	4人
-----	----	-----	----	-----	-----	-----	----

(1) テーマ：「財務会計」「国際会計」「企業分析」

財務会計とは、会計のなかでも企業の外部者向けに公表する財務諸表について、その仕組みや構造を学ぶ学問です。近年、国際会計（IFRS）の重要性も高まっているため、国際会計についても学習します。また、会計理論を学ぶだけでなく、それらを用いて実際に企業を分析することで、実践力を養っていきます。

(2) キーワード：「好奇心」をもって「真面目に」かつ「仲良く」取り組みましょう。

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

①授業期間：

まずは教科書（2,000～3,000円）3冊を用いて、財務会計・財務諸表分析、経営戦略、国際会計の基礎知識を身につけます。そのうえで、興味をもったテーマについてより深く学んでいきます。

進め方は、担当グループが資料を準備し全体発表・質疑を行った後、発表に対するグループワーク・フィードバックを行う、という形式です。また、合同ゼミやコンテストなど、大きなプロジェクトの発表直前には、ゼミの時間外にグループごとの個別指導も行います。

(参考：現3年生のスケジュール予定)

2年後期：企業分析①（財務諸表分析）、財務会計の基礎知識、企業分析②（基礎的な経営戦略分析）

3年前期：企業分析③（経営分析＋企業価値評価）、国際会計の基礎知識

神奈川産学チャレンジプログラム（課題解決型研究コンペ）の準備・応募

3年後期：他大学との合同ゼミの準備・実施、『の～びのび経済』投稿論文執筆、卒論テーマ決め

4年：学術文献輪読、卒論執筆・報告

②サマセ・スプセ：

合宿では、主に「ビジネスゲーム」を行います。ビジネスゲームとは、グループに分かれ数期にわたって仮想的に企業を経営し、最終年度の各グループの企業価値を競うゲームです。

なお、合宿の費用は、交通費込みで1回あたり3万円程度に抑えています（卒業まで計3回）。2017年度は、サマセ：群馬県利根郡（尾瀬）、スプセ：山梨県南都留郡（山中湖）で行いました。

③ゼミ外での学習活動：

現3年生は、2年後期に学内合同ゼミを行いました。3年前期にも学内合同ゼミ、3年後期には神奈川県産学チャレンジプログラムへの応募および他大学との合同ゼミを予定しています。

(4) 演習Ⅳ以外で、論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

3年後期に行う他大学との合同ゼミでの報告について、『の～びのび経済』（学内誌）に投稿してもらう予定です。（既存の報告を論文調に整えるので、新規に執筆するわけではありません。）

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

中田ゼミは創立6年目で、卒業生は4期生まで出ています。就職先は、金融業がやや多いですが、その他については、業種はさまざまで特段の傾向はありません。

(6) 教員について(自己紹介等)

研究は、財務会計理論・国際会計に関するテーマが主です。性格はマイペースで、座右の銘は「蓼(たで)食う虫も好き好き」。何事も拒まずに、まずは受け入れる姿勢が肝心と思っています。趣味は、音楽鑑賞(特にメタル)、ドライブ、外食巡りなど。

聞きたいこと・相談ごとがあれば、気軽にメールするなり研究室にお越しください。

⇒研究室：813 研究室、オフィスアワー：月曜昼休み（2018前期）

（※先約が入っていることもあるので、事前のアポイントメントをお願いします。）

(7) その他

①複数学年・連コマでのゼミ

先輩・後輩間の交流を深め、また学習内容を深める目的で、**複数学年合同**でゼミを行っています。2018年度後期は、金3限：4年卒論指導、金4限：3・4年ゼミ、金5限：2・3・4年ゼミ、金6限：2・3・4年ゼミ、といった形でゼミを行うことを予定しています。（2年生については、必修の英語が当該時間に入っている場合、個別に配慮します。）

このように、**毎週2～3コマ連続でのゼミ参加**が前提となりますので、注意してください。

②課外活動（飲み会・食事会）

飲み会や食事会などの懇親会も随時開催しています。OB会、4年生卒業パーティーのほか、全体での懇親会も半期に1～2回程度あります。その他月に1～2回ほど、有志による少人数での懇親会（教員も参加）があります。（学生同士は、毎週のように食事に行っているようです。）

③ゼミ選択について

ゼミは、サークルやアルバイト以上に大学生生活の軸となり、卒業後の思い出となる活動です。また、就職にも強く影響しますので、ゼミ選びは人生におけるとても重要な選択でもあります。ゼミを選ぶ際には、自らの将来を考えるとともに、事前に募集要項・手引き・個別ブース相談会・公開ゼミなどをフル活用して、教員・ゼミ生の雰囲気、学習内容、卒業生の進路など必要な情報をつかんでおきましょう。